

2019年4月18日作成

Ver.1.01

## 公開しなければいけない臨床研究

### 臨床研究の情報公開について

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療データをまとめたり、当院に保管してある試料（血液検体や病理標本等）を用いたりして行います。このような研究は、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされております。

利用する情報や検体からは、お名前、住所など、直接同意できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

この研究に関して、研究計画や関係する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

### **\*利用する情報に合わせて下記のどちらかにチェックをつけてください。**

#### 【個人を特定できる場合】

ご自身またはご家族等が、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないと思われる場合や研究不参加を申し出られた場合は以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。その際はこの研究で得たあなたの試料・情報は全て廃棄いたします。いずれの場合もなんら不利益を受けることはありません。

#### 【個人を特定できない場合】

利用する試料・情報は特定の個人を識別することが出来ないように加工した情報のため、過去の診療データや保管している試料を研究に使用してほしくないとして申し出ていただいても個人を特定できないため対応できません。あらかじめご了承ください。研究に関するお問い合わせなどがある場合には下記「お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	日本における菌血症由来のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の遺伝子型による特徴の違い
所属（診療科等）	長崎大学病院 検査部
研究責任者（職名）	賀来 敬仁（助教）
共同研究機関	日本感染症学会で公募・選定した医療機関が研究に参加します。 大阪市立総合医療センターが選定されています。
研究期間	病院長許可日～2020年3月31日
研究目的と意義	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は日本で最も多い薬剤耐性菌です。この研究では、日本感染症学会で研究参加施設を公募・選定し、各施設で検出された菌血症由来のMRSAについて薬剤感受性および遺伝子の検査をします。その結果から、遺伝子の違いによってMRSA感染症に有効な薬剤が異なるのか明らかにすることができます。

研究内容	<p>●対象となる菌株 研究参加施設で2019年9月30日までに血液培養から検出されたMRSAを対象とします。</p>
	<p>●利用する情報/試料 下記の情報について、各施設から匿名化された情報を提供してもらいます。 施設名、提出診療科、提出日、提出時期（外来/入院48時間以内/入院48時間以降）、入院からの経過日数、菌株同定機器、薬剤感受性（機器名および各施設での結果）</p>
	<p>●研究方法 MRSAの菌株の遺伝子について検査を行い、MRSAの遺伝子の違いによって検体情報や薬剤感受性が違うのか解析します。</p>
問い合わせ先	<p>【主施設研究担当者】 氏名：賀来 敬仁（医師） 長崎大学病院 検査部 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7574 FAX 095（819）7422</p> <p>【当院における研究担当者】 氏名：白野 倫徳（医師） 大阪市立総合医療センター 感染症内科 住所：〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 電話：06（6929）1221 FAX 06（6929）1091</p>